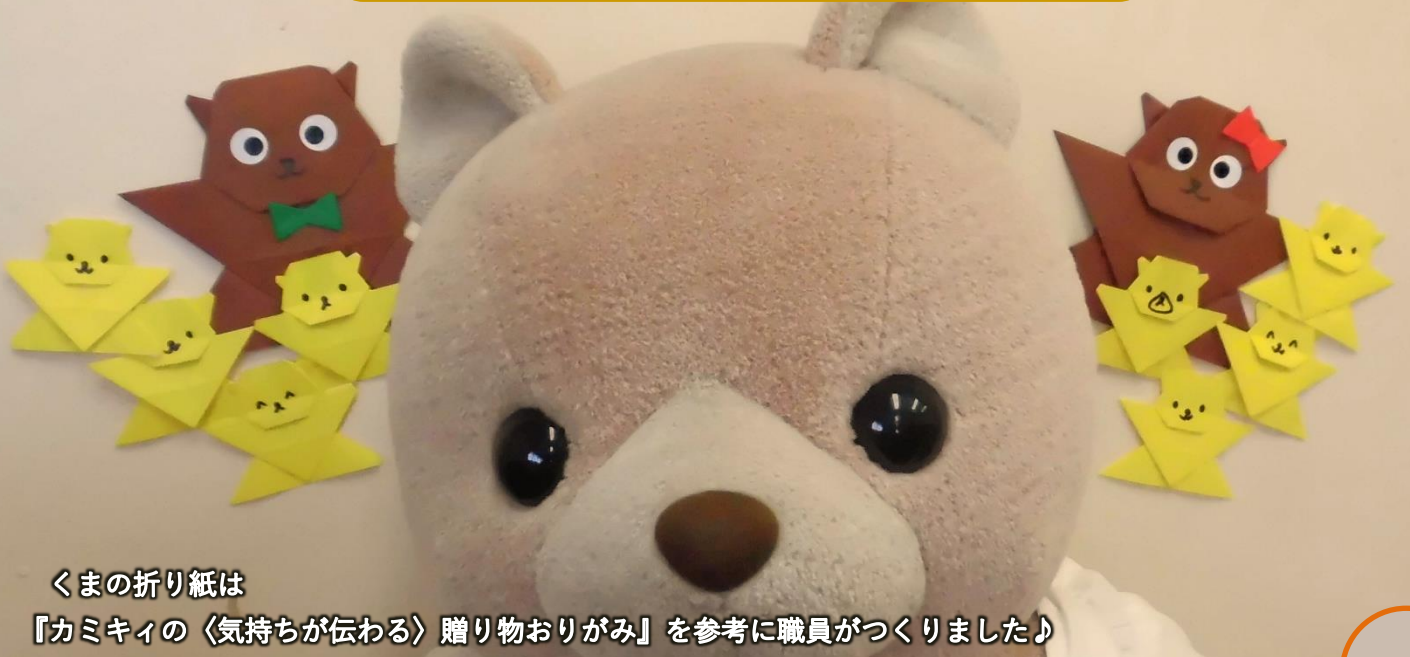


狭山ヶ丘分館 図書館だより

2023秋号



くまの折り紙は

『カミキィの〈気持ち伝わる〉贈り物おりがみ』を参考に職員が作りました♪

狭山ヶ丘分館図書館イベントのお知らせ

秋の読書週間「読書ビンゴ」

10月3日（火）から11月10日（金）まで

色々な分類の本を借りて頂き、ビンゴになると、素敵なプレゼントがもらえます。問題用紙は「やさしい」と「むずかしい」の2種類があります。ぜひチャレンジしてみてくださいね！

講演会『^{よしこ}葎子とみなみ～わが子大きくなり～』

講師：さいとうなおこ氏（歌人）

歌人三ヶ島葎子と愛娘みなみについて講演していただきます。

■11月11日（土）午後2時から ■場所：狭山ヶ丘コミュニティセンター2階 第1・2集会室

■定員30名 10月21日（土）午前9時30分より 狭山ヶ丘分館カウンター又はお電話で受付開始

まめの木文庫さんとおはなし会

まめの木文庫さんといつもとより特別なおはなし会を行います。

■11月12日（日）午後2時10分から

■場所：狭山ヶ丘分館コミュニティセンター2階 第1・2集会室

※11月11日（土）のおはなし会はお休みします。

発行:所沢図書館狭山ヶ丘分館 若狭 4-2478-4 TEL 04(2949)1193

こんなことしました。

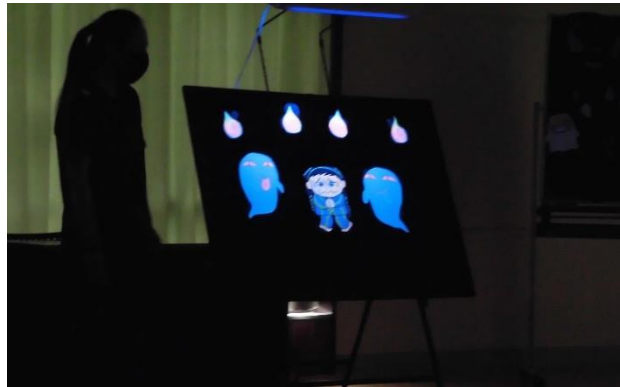
令和5年夏(7~9月)

「ちょっぴりこわいおはなし会」

開催：7月8日(土) 参加者：子ども7名・大人4名

いろいろなおばけが出てくるお話を集めて、ちょっぴりこわいおはなし会を開催しました。

素話、紙芝居、ブラックパネルシアター、てあそび、大型絵本や工作などボリュームたっぷりのプログラムに、「ちょっぴりこわかったけど、楽しかった。」と褒めていただきました。暗い中で聞く素話や光るブラックパネルシアターは雰囲気があり、好評でした。



「スペシャルおはなし会」

開催：7月29日(土) 参加者：子ども1名・大人1名

第5週の土曜日に行っている「スペシャルおはなし会」。2回目の7月は【旅行】をテーマに大型絵本を選びました。線路を繋いで列車が走る『せんろはつづく まだつづく』の大型絵本は、見ている人も旅気分にしてくれたことでしょう。工作は作中にも出てきたスイカを折り紙で作りました。2枚の折り紙を使って作ったのですが、とても美味しそうに出来上がりました。夏休みに入っていたためか、参加人数は少なかったものの「今日、図書館に来てよかったです。とても楽しかった」と褒めていただきました。



「なつやすみ工作会」

開催：8月19日(土) 参加者：子ども7名



今年のなつやすみ工作会では、「しかけちょきんばこをつくろう!」と題して舌を引っ張るとお金が消える貯金箱を作成しました。

工作会が始まると、みんな説明をしっかりと聞きながら作業を進めてくれました。しかけの組み立ては、工作会が始まる前から大盛り上がり!うまくしかけが作れると皆で引っ張って楽しそうに遊んでくれました。牛乳パックの飾りつけでは皆、どの位置に目や鼻を付けようか真剣に作業していました。終始、お友達や保護者の方と相談しながら工作している子どもが多く、賑やかなイベントになりました。

「ぬいぐるみおとまり会」

実施日：8月26日（土） 参加者：子ども6名



数年ぶりに狭山ヶ丘分館でぬいぐるみおとまり会を行いました。「図書館にぬいぐるみがお泊りするの？」と参加してくれた子どもたちは興味津々。みんなの大切なぬいぐるみ達は、夜になるとみんなで絵本を読んだり、書庫を探検したりしていたようです。翌日、お迎えに来てくれた子どもたちに、ぬいぐるみのお泊りの様子が写った写真をプレゼント。楽しそうに写真を眺めながら、一晚離れたぬいぐるみをしっかりと抱きしめて家に帰る様子は大変微笑ましいものでした。

「さやまがおか荘寄席」

開催：9月22日（金） 参加者：大人46名

数年ぶりに狭山ヶ丘コミュニティーセンター1階にある「さやまがおか荘」との共催イベント、落語家・入船亭扇橋さんによる落語寄席を行いました。

今回の演目は「禁酒番屋」と「高砂や」の2つでした。

会場は終始、賑わっていて参加された方々には大いに楽しんで頂けたようでした。

終了後のアンケートには、「真打の落語が聞けるなんてうれしい」や「生の落語はすごかった」など多くの感想をいただきました。「来年度以降も続けてほしい！」というご意見も多く、とても良いイベントになりました。



「ブックトークに行ってきました」

開催：9月5日（火）宮前小学校 9月12日（火）林小学校 9月26日（火）北中小学校



夏休みが終わり、少し日に焼けた子どもたちの顔が並び9月、3つの小学校でブックトークを行いました。ブックトークとはテーマに沿って、おすすめの本を紹介するものです。狭山ヶ丘分館のテーマは「チェンジ！」です。図書館職員が紹介する本の中で、色々なものがチェンジしていきます。ブックトークが終わると「この本の続きが読みたい」「これってどうやって作るの？」など、子ども達が話しかけてくれます。短いですが、子ども達と触れ合える貴重な時間です。コロナ禍の際、ブックトークが実施出来なかった事もありました。こうしてまた、小学校へ伺うことが出来て本当に嬉しい、と改めて実感しました。



図書館スタッフの オススメ本

あいまい・ぼんやり語辞典

森山卓郎／編 東京堂出版 2022年

請求記号：814/7

日本語にはあいまいでぼんやりとした言葉が多くある。それは相手を傷つけないための配慮でもあり、時には正確に言葉が伝わらずトラブルの原因となったりもする。本書はそんな日本語のあいまいさ、ぼんやりさに着目し、その用法や成り立ちについて解説した辞書である。

例えば「いいですよ」という言葉。この言葉は承諾のときも断りのときも使う言葉である。しかし、文字でみただけではどちらの意味かはわからない。そのときの状況や、身振り、発音などが加わることで、はじめてその意味をとらえることができるのである。日本語を母語とする者はそのあいまいさを自然と使い分けているが、どうやら秘密は最後の「よ」にあるのだという。

普段何気なく使っている日本語の奥深さに気づくことができ、結構面白い一冊である。(ちなみにこの「結構」についても解説されているのでぜひ読んでみてほしい。)

戦国武将、虚像と実像

呉座勇一／著 KADOKAWA 2022年

請求記号：S281.04/ゴ

皆さんは戦国武将に対して、どのようなイメージをお持ちだろうか。

織田信長は、神をも恐れぬ魔王・変革者なのか？信長を討った天下の謀反人・明智光秀は、本当に虐められて本能寺の変をおこしたのか？豊臣秀吉の朝鮮出兵は、偉業か愚行か？徳川家康は忍耐強い温厚な人物なのか、それとも腹黒い狸親父だったのか？対する(関ヶ原)敗軍の将、石田三成は忠義の武将だったのか？それらの人物像は、時代背景や、日本人の歴史認識の変化、司馬遼太郎ら時代小説家の影響を大きく受け、時代とともに変遷してきた。

本書は人気のある7人の戦国武将を例にとり、最新研究に基づく実像を示すだけでなく、歴史上の人物について抱くイメージが、どのようにして形成されてきたかを読み解くものである。

武将たちの知られざる一面が描かれており「戦国武将」のイメージが覆るかもしれない1冊。ぜひご一読ください。

「図書館まつりの季節がやってきました！」

11月11日(土)・12日(日)に開催いたします。

今年も人気の「リサイクルブック市」や子ども・大人向けの「本の福袋」、

「さあやのおみくじ」などを行う予定です。

ご興味のある方はぜひご来館ください！

狭山ヶ丘分館マスコットキャラクターくまのさあやちゃん

